11 9・1総合防災訓練

8月30日から9月5日までの「防災週間」のうち9月1日の「防災の日」において、防災対策の強化、防災機関相互の協力体制、住民の防災意識の高揚を図るため、次により訓練を実施した。

1 目的

この訓練は、災害対策基本法第48条、宮城県地域防災計画及び美里町地域防災計画に基づき、大地震等の災害発生時において防災関係機関・各種団体及び地域住民が一体となり、迅速かつ的確な災害応急活動が実施できるよう相互の協力体制の確立を図るとともに、併せて地域住民の防災意識の高揚と防災技術の習得を図ることを目的とする。

2 日時

平成20年9月1日(月) 午前9時から午後0時40分まで

3 場所

美里町役場南郷総合支所周辺

4 主催

宮城県・美里町

5 協賛

財団法人宮城県消防協会、同大崎地区支部
大崎地域広域行政事務組合消防本部

6 訓練参加機関及び団体(一部略称使用)

陸上自衛隊第6師団、陸上自衛隊第22普通科連隊、陸上自衛隊第6化学防護隊、陸上自衛隊第6飛行隊、仙台管区气象台、東北管区警察局宮城県情報通信部、山形県総務部危機管理室総合防災課、山形県消防防災航空隊、宮城県警察本部、宮城県警察広域緊急援助隊、岩手県警察広域緊急援助隊、宮城県警察航空隊、宮城県遠田警察署、緊急消防援助隊宮城県隊(仙台市消防局、名取市消防本部、岩沼市消防本部、登米市消防本部、栗原市消防本部、黒川地域行政事務組合消防本部、石巻地区広域行政事務組合消防本部、塩釜地区消防事務組合消防本部、亘理地区行政事務組合消防本部、仙南地域広域行政事務組合消防本部、大崎地域広域行政事務組合消防本部、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部)、宮城県北部地方振興事務所、宮城県土木部防災砂防課、宮城県北部土木事務所、宮城県防災航空隊、仙台市消防航空隊、宮城県社会福祉協議会、災害派遣医療チーム(日本赤十字社宮城県支部、DMAT:独立行政法人国立病院機構仙台医療センター、東北大学病院、大崎市民病院)、美里町立南郷病院、NPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンター、東北電力(株)宮城支店、東日本電信電話(株)宮城支店、(株)NTTドコモ東北支社、(社)宮城県医師会、(社)宮城県歯科医師会、(社)宮城県トラック協会、(社)宮城県エルピーガス協会、(社)宮城県プレハブ建築協会、宮城県解体工事業協同組合、(社)宮城県建設業協会、(社)宮城県警備業協会、宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生活協同組合)、宮城県国際交流協会、宮城県消防学校、大崎地区危険物安全協会、大崎地域婦人防火クラブ連合会、美里町教育委員会、美里町消防団、美里町消防団後援会連合会、美里町婦人防火クラブ連合会、美里町立なんごう幼稚園、美里町立なんごう保育園、美里町立南郷小学校、美里町立南郷中学校、美里町交通安全指導隊、美里町防犯実働隊、美里町社会福祉協議会、美里町商工会、美里町水道事業所、美里町行政区長会、美里町関係行政区、各地区自主防災組織、美里町南郷非常通信ボランティア、日本赤十字社宮城県支部美里町分区、みどりの農業協同組合、日本赤十字飛行隊、NPO災害救助犬ネットワーク、美里町国際交流協会、美里町民生委員児童委員協議会、仙台トヨペット(株)、宮城県アマチュア無線クラブ赤十字奉仕団、大崎消防退職者協力員、(社)日本自動車連盟宮城支部、(株)共栄防災、国立大学法人東北大学大

学院情報科学研究科, 特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構, 船山(株), 櫻護謨(株), (社) 栗原秀峰会知的障害者通所授産施設パン工房いそっぷ, 仙台コカ・コーラボトリング(株)

7 想定

(1) 発災日時 平成20年9月1日(月) 午前9時

(2) 震源地, 規模等

震源地: 宮城県沖 マグニチュード8.0 県内全域で震度4以上, 美里町で震度6弱を観測

(3) 状況設定

9月1日(月)午前9時, 宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0と推定される地震が発生した。この地震により, 県内全域で震度4以上の揺れを観測し, 美里町の一部地域では震度6強に達した。

この地震で多数の人的被害, 建物の倒壊をはじめ道路や橋梁などの土木施設や電力, 電話, 水道, ガスなどのライフラインにも甚大な被害が生じた。特に, 市街地, 住宅密集地の数ヶ所から火災が発生し, 大規模災害の様相を呈している。

美里町では, 災害対策本部を設置し, 住民の救護や被害の軽減に努める一方, 県内の応援協定締結市町村に対して応援を求めるとともに, 国, 県並びにその他の防災関係機関への出場要請を行った。

8 訓練の重点及び訓練種目

地震災害時において応急対策の決定, 実施等重要な役割を担う宮城県及び美里町が連携し, 一体となった実践的訓練を行うことを重点とし, 次のとおり実施する。

(1) 非常招集訓練

(2) 広報訓練

(3) 交通規制訓練

(4) 警備訓練

(5) 災害情報放送訓練

(6) 避難誘導訓練

(7) 災害対策本部設置運用訓練

(8) 現地災害対策本部設置運用訓練

(9) 現地指揮本部設置運用訓練

(10) 応援要請訓練

(11) 人員・資機材輸送訓練

(12) 情報収集・伝達訓練・上空偵察訓練

(13) 通信訓練

(14) 自主防災初期消火訓練

(15) 自主防災救出・救護訓練

(16) 緊急道路確保訓練

(17) 土砂災害対応訓練

(18) 防疫訓練

(19) 事故車両対応訓練

(20) 倒壊建物救助救出・火災防ぎょ訓練

(21) 応急救護訓練

(22) 救護所設置訓練

(23) 遠距離送水訓練

(24) 救援物資輸送訓練

(25) 緊急医薬品輸送訓練

- (26)避難所開設訓練
- (27)給水訓練
- (28)炊き出し訓練
- (29)ライフライン応急復旧訓練
- (30)ボランティア活動支援訓練

9 訓練組織及び指揮

訓練を円滑に実施するため、宮城県知事を訓練統監、美里町長を町災害対策本部長、また、美里町副町長を現地災害対策本部長とし、現地訓練会場での総指揮を行う。各指揮は、各関係機関の現地指揮本部が当たる。